

令和6年第31回定例公安委員会会議録

開催日時 令和6年10月31日（木）午前11時11分～午後2時45分

開催場所 警察本部

第1 定例会議

1 開催時間 午後1時30分～午後2時7分

2 出席者

公安委員会 勝部委員長 久本委員 笠田委員

警察本部 野村警察本部長 森本警務部長 宮田首席監察官
細田生活安全部長 山本交通部長 樋口警備部長
濱本警察学校長 坂口情報通信部長 前田刑事部総括参事官
吉村警務部参事官

（事務局等～岩城公安委員会補佐室長、総務課員）

3 議題事項

4 報告事項

- 公文書開示請求等の状況（令和6年7月～9月）（警務部）
- 令和6年度上半期の会計監査実施結果（警務部）
- 鳥取県警察・消防殉職者慰霊祭の挙行（警務部）
- サイバー犯罪対策の状況（生活安全部）
- 11月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

（1）公文書開示請求等の状況（令和6年7月～9月）（警務部）

警察本部

本年7月から9月の公文書開示請求について、公安委員会宛ての請求が1件、警察本部長宛ての請求が26件であった。また、保有個人情報開示請求について

は、公安委員会宛ての請求が0件、警察本部長宛ての請求が13件であった。
引き続き、法律及び条例に基づき適切に対応していく。

委員

公文書開示請求及び保有個人情報開示請求の多くは、定例的な請求によるものであり、警察の業務運営について特に問題はなかったとのことであった。今後も引き続き、適切に対応していただきたい。

委員

比較的少ない件数で推移していると思うが、請求理由は問わないとのことであるので、丁寧な対応をお願いします。

委員

開示の決定に際し、開示可能な情報は開示し、対応に誤りがないよう気を付けていただきたい。

(2) 令和6年度上半期の会計監査実施結果（警務部）

警察本部

令和6年度上半期の会計監査については、5月21日から9月30日までの間、25所属に対して実施した。対象年度は令和5年度及び令和6年度であり、本部長以下14人の監査体制で、契約関係、捜査費関係、旅費関係、支出等関係文書関係、金券類・保管金・物品関係の合計5項目について監査した。訓令に基づく指示事項はなく、監査対象業務はおおむね適正に処理されていたが、4所属において、7件の改善すべき点が見受けられ、監査実施後速やかに是正措置を行い、手続上の問題は解決した。

今後も定期的に会計監査を実施し、会計業務の適正を図っていく。

委員

4所属について改善指導が行われたとのことであり、再発防止策を含め、改善状況を報告させ、引き続き会計業務の適正を図っていただきたい。

委員

この度、改善すべき点は軽微な内容であったと思うが、組織全体の改善と捉え、しっかりとした再発防止対応をお願いします。

委員

各種規定等で決まっていることは、軽微なことでも確実に行わなければならない。確認が大変かと思うが、確実な業務をお願いします。

(3) 鳥取県警察・消防殉職者慰霊祭の挙行（警務部）

警察本部

鳥取県警察・消防殉職者慰霊祭は、本年11月14日に城南神社で挙行する予定である。主催は、鳥取県警友会連合会と公益財団法人鳥取県消防協会で、本年は、公益財団法人鳥取県消防協会会長が祭主を務める。慰霊祭は、無宗教献花方式で行い、霊位は、警察殉職者御霊38柱、消防殉職者御霊18柱の合計56柱である。参列者は、鳥取県議会議長等が予定されている。

委員

鳥取県警察において、近年は殉職事案が発生していないとのことで安心した。特に、事件による殉職者がでないよう、今後もよろしく願います。

委員

多くの殉職された職員の御霊が、穏やかに休まることを祈念している。殉職者の意思を引き継いだ警察業務を行っていただきたい。

委員

寒暖差が激しい時期の開催であることから、挙行中は体調に十分注意していただきたい。

(4) サイバー犯罪対策の状況（生活安全部）

警察本部

サイバー犯罪の取締り状況等について、検挙件数等の推移は令和3年以降、全国及び県警察ともに高水準となっており、県警察では、本年9月末時点で前年同期比10件の増加となっている。サイバー犯罪の特徴は、フィッシング行為に端を発した不正送金事犯、電子決済サービスを悪用した電子計算機使用詐欺事犯が発生するなど、サイバー犯罪の手口は悪質、巧妙化している。サイバー犯罪に係る相談受理件数は全国では右肩上がりに推移しており、令和4年以降は年間20万件を超える高い水準となっている。県警察においても、全国と同様の推移で、昨年過去最高の件数となった。本年の相談内容については、詐欺、悪質商法等による被害に関するものが全体の約半数を占めているほか、迷惑メール、クレジットカード被害に関するものが増加傾向にある。

インターネット犯罪等の被害防止に資する取組について、社会全体におけるセキュリティ意識の向上を目指し、関係機関・団体との連携を密にしながら推進している。県警察では、経済団体や地方自治体等からの要請に応じ、サイバーセキ

セキュリティ講演を随時行っている。また、幅広い世代に対応した情報発信を目的に、県警察のホームページやSNSアカウントを利用したセキュリティ情報等の発信、鳥取県サイバーセキュリティ対策ネットワークのウェブサイトを活用したセキュリティ情報等の発信を実施している。

今後においても、引き続きサイバー犯罪情勢と並行して、社会情勢の変化に傾注しつつ、警察組織全体の対処能力の強化、被害防止対策に努めていく。

委員

サイバー犯罪は高度化しており、巧みに手段を変えて身近に迫ってくるため、対策が大変だと思う。広報活動もしっかりと実施されているとのことであるので、今後もよろしく願います。

委員

サイバー犯罪は、県民を不安にさせる要因の一つであり、今後更に増加する可能性の高い犯罪だと思う。発信元が国外の場合もあり、単県での対応が大変な場合もあるかと思うので、本庁とも連携しながら対策を進めていただきたい。

委員

最近、大手企業を騙ったメールが多く届くようになった。サイバー犯罪は、どのような形で迫ってくるか分からないことから、しっかりと広報等の対策を図っていただきたい。

(5) 11月中の入校及び訓練概況等（警察学校）

警察本部

11月中の入校関係について、初任科第100期の採用時教養を引き続き実施する。専科は、組織犯罪対策専科、緊急自動車専科、鑑識専科を実施する。任用科は、警部補任用科、巡査部長任用科、警備任用科を実施する。

11月中の行事・訓練関係等については、術科技能検定の受検、卒業試験、部外講習として、刑務所見学、消防活動に関する教養、筆談講習を受講する。

10月中の行事・訓練関係等については、初任科第100期生が制服実務研修を実施した。鳥取署・米子署での勤務を経験した学生からは、準備の大切さ、時間の使い方、制服・発言の重み、現場における連携・役割分担・情報共有の重要性など、指導員から現場処理の仕方のみならず、細かな部分まで指導を受け、多くのことを学んだとの感想があった。

委員

制服実務研修を実施されたとのことであるが、実習中の学生であっても県民にとっては警察官に変わりなく、学生からは、発言の重みを認識されたとの感想が

あり、有意義な研修であったと思う。今後も研修、教養を積んでいただき、立派な警察官になっていただきたい。

委員

警察官は拝命してから教養の機会が多く、警察学校は警察全体のスキルを高めていくことを業務としている。民間では存在しない教養システムであり、大変素晴らしいと感じている。

制服実務研修では、現場警察官から細かな指導を受けたとのことであり、学生にとっては実戦に近づいていく助けになったかと思う。引き続き、よろしくお願いする。

委員

災害等、いつ何が起こるか分からないので、他機関による教養を受講することは重要である。しっかりと受講し、業務運営のためのスキルを身につけてもらいたい。

第2 その他の公安委員会活動

1 意見の聴取

運転免許課から、道路交通法に基づく意見の聴取5件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

2 聴聞

運転免許課から、道路交通法に基づく聴聞2件について、事案概要、処分理由、当事者の陳述要旨、基本量定等を詳細に聴取し量定を決定した。

3 事前説明

令和6年度上半期の会計監査実施結果

4 報告事項

監察報告

5 決裁

- ・ 鳥取県銃砲刀剣類所持等取締法の規定による医師の指定に関する規則の一部改正
- ・ 公安委員会宛て苦情の回答について

6 公安委員会委員間の事前検討・協議等

7 公安委員会補佐室からの事務連絡等

公安委員会補佐室から当面の行事予定等について確認と説明があり、了承した。